

1. 製品及び会社情報

製品名	不凍液(A-ブライン)200kg SB-PFP-D
製品コード	2-7993-03
会社名	アズワン株式会社
住所	〒550-8527 大阪市西区江戸堀 2-1-27
担当部門	品質保証部エビデンス管理グループ
電話番号	06-6447-8614
FAX番号	06-6447-8664
推奨用途	不凍液
使用上の制限	所定用途以外に使用しないこと。

2. 危険有害性の要約(水溶物プロピレングリコールとして)

GHS分類	
健康に対する有害性	<p>特定標的臓器毒性(単回曝露) 区分1(中枢神経系、血液系)、区分3(麻酔作用)</p> <p>特定標的臓器毒性(反復曝露) 区分1(中枢神経系、呼吸器)</p> <p>生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響) 追加区分</p>
環境に対する有害性	<p>水生環境有害性 短期(急性) 区分3</p> <p>水生環境有害性 長期(慢性) 区分3</p> <p>*上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」又は「分類できない」に分類されている。</p> <p>*この判定はJIS Z 7252:2019に従って分類した。</p>

GHS ラベル要素 :



絵表示 注意喚起語
危険有害性情報

危険
臓器(中枢神経系、血液系)の障害。
眠気又はめまいのおそれ。
長期にわたる、又は反復曝露による臓器(中枢神経系、呼吸器)の障害。
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き
安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、眼、口をよく洗うこと。
:この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

救急措置

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：特別な処置が必要である(4・応急処置参考)
 無理に吐かせないこと。
 漏出物を回収すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
成分	プロピレングリコール 62～64 wt% CAS 57-55-6 化審法 No. 2-234 水 33～35wt% CAS 7732-18-5 窒素化合物、その他 5wt% CAS 非公開 化審法：非公開

4. 応急措置

吸入した場合	多量に蒸気・ミスト等を吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、保温して安静にすること。もし呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合は、速やかに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	水でよく口をすすぎ、多量の水を飲ませた後吐き出させること。直ちに医師の診断を受けること。意識のない場合には水等を与えてはならない。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱ぎ、製品に触れた部分を水で流しながら石鹼を使ってよく洗浄する。外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受けること。
目に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗い流し、症状により医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	吸入すると、咳、咽頭痛、めまい、頭痛。 皮膚に接触すると、発赤。 眼に接触すると、発赤、痛み。 飲み込むと、咳、咽頭痛、めまい、頭痛、吐き気。
医師に対する特別な注意事項	：症状は遅れて発現することがあり、過剰に曝露したときは医学的な経過観察が必要。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	引火性はないが加熱によりプロピレングリコール濃度が上昇し引火しやすくなる。 水、二酸化炭素、ドライケミカル、泡消火剤等
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有毒なガスを発生するおそれがある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏出した場所の周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 作業は風上から行い、風下の人を避難させる。 屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行う。
環境に対する注意事項	公共水域や野外に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。
封込及び浄化方法、機材	危険でなければ漏れを止める。 少量の場合はウエス等でふき取り、多量の水で希釈して洗い流す。 多量の場合は土のうなどで流出を防ぎ、液はポンプなどでできるだけ空容器に回収する。漏洩した場所に残った薬液はウエスや布、おが屑等を用いて吸収させて回収した後、多量の水で洗い流す。 廃棄物は、関係法令等に基づいて処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
取扱い上の注意事項	換気の良い場所で使用し、容器はその都度密栓すること。 みだりにミスト／蒸気を発生させないこと。飛散させないように慎重に取扱うこと。

直射日光を避け、風通しの良い所に常温で保管すること。
強酸化剤、強塩基、強酸から離して保管すること。容器は移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度
設備対策

設定なし

屋内作業場での使用の場合は、全体換気装置又は局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示。
必要に応じ呼吸保護マスク(有機ガス用防毒マスク)や不浸透性保護手袋、保護眼鏡、ゴーグル、保護面、保護衣、安全靴、安全帽等を使用。

保護具

9. 物理的及び化学的性質安全性

物理状態および臭気

赤桃色透明液体、わずかな臭い

沸点

約 111℃

引火点

データなし

発火点

データなし

密度

1,040~1,060 kg/m³ (20℃)

pH 値

7.9~9.9

凍結温度

約-15℃(50wt%)

溶解度

水に混和する

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の実験条件では安定。

反応性

情報なし

危険有害反応可能性

発火性なし、酸化性なし、自己反応性なし、爆発性なし

混触危険物質

強酸化剤、強酸、強塩基

11. 有害性情報

急性毒性・慢性毒性

データなし

その他の毒性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

追加区分(授乳に対する又は授乳を介した影響)に該当する成分を分類基準となる濃度以上含むため、製品としても追加区分(授乳に対する又は授乳を介した影響)と判定した。また、生殖毒性物質区分 2 の成分を濃度限界未満であるが、0.1%以上含有する。

12. 環境影響情報

生態毒性

水性生物に有害

加算式の適用判定の結果、区分 3 と分類した。

(ただし、この製品の成分約 2%については水生環境有害性が不明である。)

残留性・分解性

データなし

生態蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

13. 廃棄上の注意

各都道府県における廃棄物処理及び清掃に関する法律に従って産業廃棄物処理業者等に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国内規則

陸上、海上、航空ともに非該当

特別安全対策

輸送の際は、容器に漏れの無いことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずること。
取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	第 57 条第 1 項 名称等を表示すべき有害物(プロピレングリコール)
有機溶剤中毒予防規則	第 57 条第 2 項 名称等を通知すべき有害物(プロピレングリコール)
特定化学物質障害予防規則	該当せず。
危険物	該当せず。
海洋汚染防止法	引火性の物に該当せず。
廃掃法	有害液体物質(Y 類及び Z 類物質を含む)(施行令別表第 1)
その他	産業廃棄物(法第 2 条第 4 項第 1 号、施行令第 2 条)
	特に該当するものはないが都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体に確認のこと。

16. その他の情報

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。また、記載された情報は現時点で正確なものと考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全なものではなく、新知見によって変わることがあります。

なお、この安全データシート(SDS)は JIS Z 7253:2019 に準じ作成しています。